

令和 6 年度（福）ふじみ野福祉会 事業報告

法人理念

利用者・家族・職員の 3 つの笑顔を大切に地域に根ざした施設づくり

利用者さんの笑顔は良質なサービスを提供することによって生まれ、家族の笑顔は安心して介護を依頼できることによって生まれ、職員の笑顔はこの福祉というたいへんな仕事を通じて得られる充実感から生まれ、それらの活動を通じて地域福祉を推進していくという意味が込められております。

利用者の尊厳ある生活を守り継続する施設づくり「生存」から「生活」へ

利用者の「食べる」「寝る」「排泄」「入浴」といった単なる「生存」のためのサービス提供で終わるのではなく、利用者が「学ぶ」「遊ぶ」「話す」「創造する」「安らぐ」といった生存を超えた「生活」行為を支援するためのサービスを提供することによって、利用者の尊厳ある生活を守り継続していくことができます。介護の視点を「生存」から「生活」へと変えることにより、利用者が地域のなかで尊厳ある生活を維持しながら、生き生きと生活できる施設づくりしていくという意味が込められております。

運営方針

- ・ 制約をなくし、利用者の自己決定の尊重をサービス提供の視点とする
- ・ 高齢者の地域生活を支える拠点を目指す
- ・ 小中学校や地域の行事を通じて地域の人々と交流を図る
- ・ 第三者のサービス評価を受け、運営の改善に努める

現状及び課題

令和 4 年から続いてきた介護職員の不足により、令和 6 年 6 月に特養のユニットの一部休止を余儀なくされました。また、下半期の特養の退所者数の増加と新型コロナウイルスの発生による減収が法人全体へ大きく影響を与えました。8 月から理事長・施設長の体制を一新し、介護職員の不足解消のため、特定技能実習生の受け入れの準備や職員紹介制度、復職制度など新たな人材確保のための改革を行いました。その後、法人内の体制や実態の再検討を行う中で、事業ごとの稼働率への意識の低さと評価制度に基づいた給与体系への早急な見直しの必要性が重要な課題として表面化しました。

令和 7 年度は適切な評価に基づいた給与体系への見直しを進めることで、職員ごとの役割の明確化と職員の業務意欲の向上と職場内環境の改善につなげ、最終的には全職員が自発的に行動できる風土作りを目指します。そして、職場内環境改善の妨げとなるハラスメントに対しては内外問わず厳正な対応を講じていきます。

特養においては、令和 6 年度から取り組んでいる新たな人材確保への改革によって採用を進めることで、上半期中を目途に休止していた特養のユニットを再開します。それにより稼働率の向上と維持に努め、経営面の安定化を図ります。

そして、各事業所において職員の人材定着を目指した施策を展開し、サービスの質を向上させ、安定的な財政運営を確保しつつ、明らかになった課題の解決に向けて以下の計画に取り組めます。

1 事務局

総合目標



- ・全事業が安定的に運営できるよう法人全体の課題解決に取り組めます。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 人材採用	<ul style="list-style-type: none"> ① 各事業の必要職員の採用を積極的に行い、安定した職員配置を継続しました。 ② 特定技能実習生の採用計画を進め、次年度より4名の入職が決定しました。
(2) 事業継続	<ul style="list-style-type: none"> ① 感染症対策を継続し、感染症発生時でも平時の事業継続が出来るよう対策を行いました。また、BCP（事業継続計画）の内容を必要に応じ適宜更新しました。

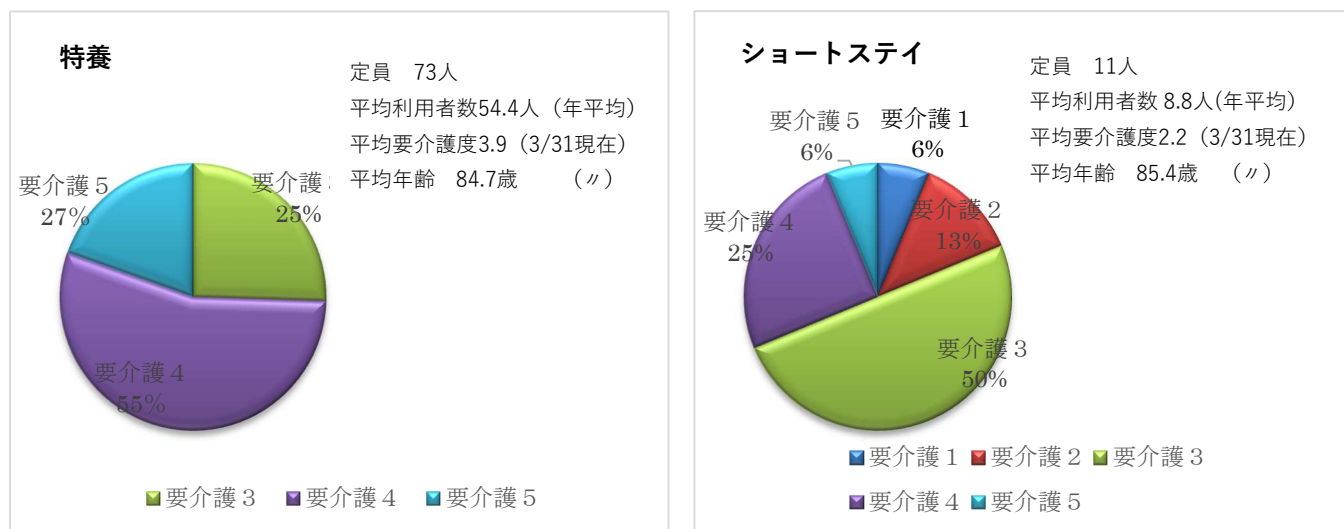
2 管理課

総合目標及び課題

- ・職員が安心して働けるような職場環境を整備します。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 人材育成及び定着	<ul style="list-style-type: none"> ① 人材の育成に努め、職員が安心して働ける環境の整備に努めました。 ② 業務分担の再確認を行い、業務効率化を実施しました。
(2) 環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ① 感染対策備品を平時から管理して備蓄する事により、感染症発生時に滞りなく対応出来ました。 ② 必要修繕の情報を集約し、優先順位をつけて適宜対応しました。
(3) 業務継続	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和7年2月23日に南畑5町会との合同防災訓練を実施しました。 有事に備え、消火訓練及び炊き出し訓練を実施しました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

3 あんしん生活課



総合目標及び課題

・職員一人一人が「むさしので働きたい」と思って頂ける様な特養を造り、人財の定着を目指します。

特別養護老人ホームむさしの

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 人財の育成及び定着	① 介護職員が無理なく働ける様、常に業務の見直しを実施しました。 ② 職員の相互協力により働く環境を整え、職員採用と定着により職員数の増加を達成しました。 ③ 介護職員との面談を随時実施、不安の解消と信頼関係の構築に力を入れました。
(2) 多職種が共同してケアに当たれるようにする	① リーダー会議、フロア会議を通じ、こまめなカンファレンスを開き、他セクション（介護・医務・リハビリ・相談）と定期的に意見を交換する場を設けました。
(3) 生活の質の向上・生存から生活へ	① 研修の開催はできませんでしたが、面談を実施しました。 ② 身体拘束については利用者の健康面を維持するため、適切な手順を踏んで1名実施しました。実施後も定期的に見直しを行っています。
(4) BCP（業務継続計画）の作成	① 感染症に係る業務継続計画を作成してあります。定期的に見直しを行い、ブラッシュアップを行っています。 ② 災害に係る業務継続計画を作成してあります。定期的に見直しを行い、ブラッシュアップを行っています。

(5) 年間諸行事	実施月	予定行事	実施日
	4 月	難波田城公園散歩	4 / 1 1 利用者 5 名
	7 月	七夕行事	施行
	11 月	ららぽーと富士見 フードコート 外食行事	1 1 / 2 1 (木) 利用者 6 名 職員 6 名
	1 月	新年会 (家族参加) →状況により入居者のみ	
	2 月	節分行事	2 月 3 日 (月) 施行
	3 月	お花見行事	4 月に実施 車窓から 6 名
(6) 入所者確保・稼働率維持・向上に向けた取組み	<p>① 新規入所申込者の方の相談には重要事項説明書などを提示し、懇切丁寧に施設生活の内容を説明し対応を行いました。</p> <p>② 入所申込みをされた方への継続的な状況確認を行い、スムーズな入所に繋がりました。</p> <p>③ 職員の採用を進め、介護職員の充足を目指しました。年度内での満床には至りませんでした。令和 7 年度上半期につながる体制づくりを行うことができました。</p> <p>④ 介護職員の不足により 1 1 月、1 2 月、1 月の受け入れを中止した為、短期入所の稼働率は約 3 0 % でした。</p> <p>⑤ 入所検討委員会を月 1 回 (定期) の他に臨時開催を実施し、待機者の安定確保に努めました。</p>		



・生計困難者に対する相談支援事業

総合目標及び課題

・社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するため、地域の援護を必要とする方に訪問相談等を行い、必要なサービスに繋ぐことをします。そして、生活保護等での既存制度では対応できない方で、経済的困窮により医療や介護サービスの利用が弊害されている場合、その費用等の全部または一部を支援する経済的援助を行います。

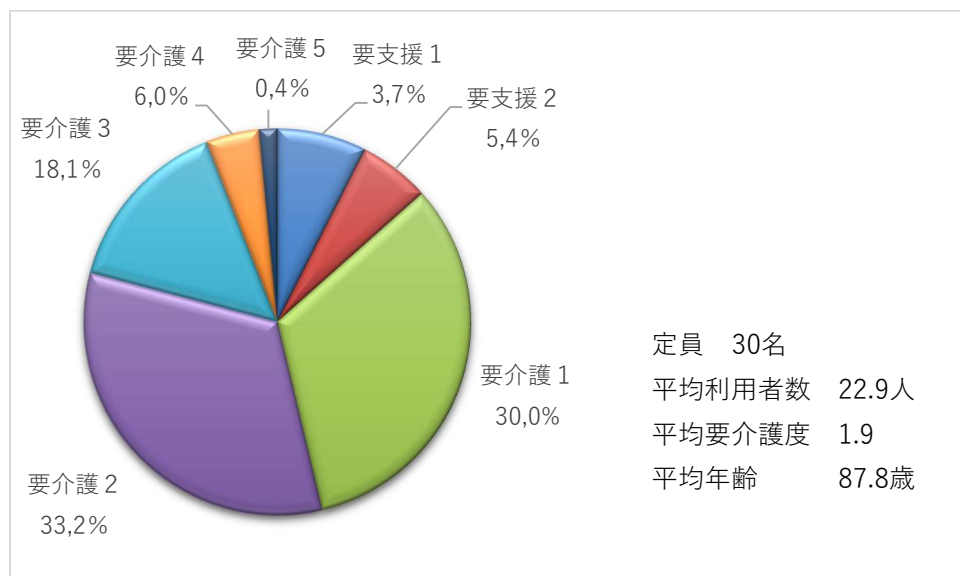
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 担当相談員の配置並びに相談活動	① 社会貢献事業を実施するため、地域の生活困窮者に対する担当相談員を2名配置しました。
(2) 援助活動	① 彩の国あんしんセーフティーネットから1件相談員派遣の依頼があり対応しました。経済的援助の必要性があり、一時的な貸し付けを行っています。
(3) 研修会の参加	① ブロック別研修会議に参加しました。

4 地域課

総合目標及び課題

地域で生活をする高齢者が在宅生活を続けるために必要とされる役割・機能を果たします。

デイサービスセンター



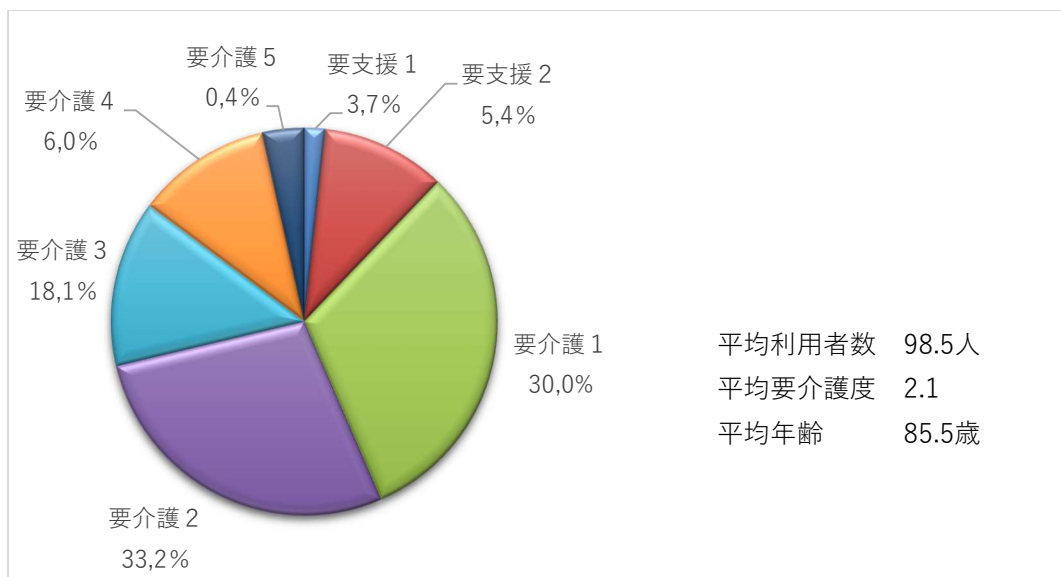
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 介護	<p>① 職員が担当業務を遂行することに重きを置き、やりがいを感じられように取り組みました。</p> <p>② 廊下にはご利用者のイベント写真や職員と一緒に作った作品を飾り、見る人が笑顔になりました。また各月に行事を行い日々の生活に「彩」を添えることが出来ました。</p>
(2) 看護	<p>① 体調不良や急変時にご利用者のことを一番に考えた行動を心がけました。</p>
(3) リハビリ	<p>① 屋内での運動だけでなく、園芸活動や散歩等を実施し、様々なメニューを実践しました。</p> <p>② 機能訓練指導員と看護師が連携し、個々の状態に合わせた訓練を実施しました。</p>
(4) 相談	<p>① 休みの連絡やご利用者の報告など速やかに伝え、家族やケアマネジャーとの関係性構築に努めました。</p>
(5) 稼働率維持・向上に向けた取り組み	<p>① 各事業所からの依頼や相談に迅速に対応し、安心してご利用者を紹介してもらえるように心がけました。年間稼働率は 74.1%で目標を達成することが出来ませんでした。</p>





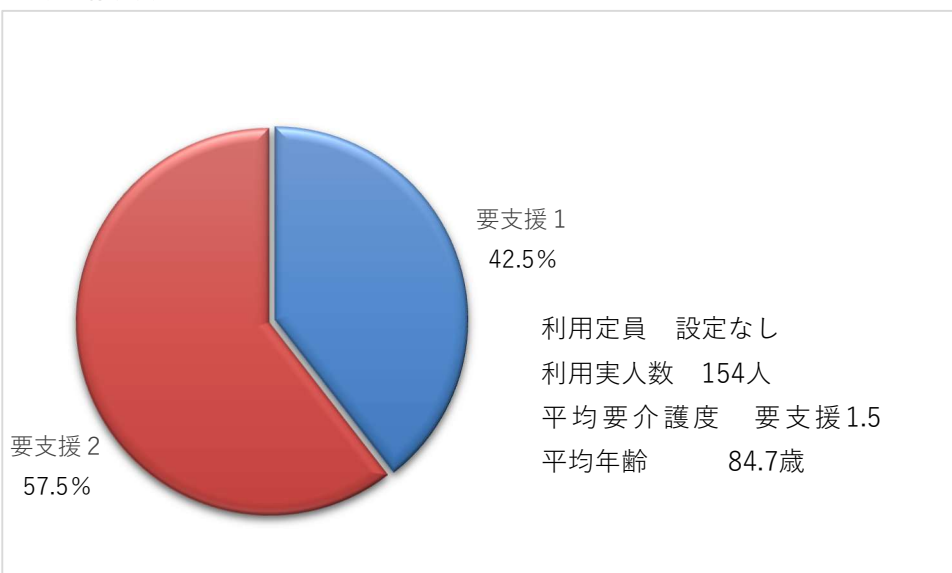
令和 6 年度デイサービス年間行事		
月	内 容	日程
4 月	車中花見行事/むさしのカフェ行事 (手作りパンケーキ)	23(火)、25 (木)、26 (金)
5 月	スポーツ大会行事 (カシャカシャランニング・紙風船ポンポン・パターゴルフ)	23(木)、24 (金)、25 (土)
6 月	パサール三芳日帰り旅行行事	8 (土)、12 (水)、18 (火)、 20 (木)、24 (月)、28 (金) 7/5 (金)
	五平餅調理レク	8(土)
	フレンチトースト調理レク	13(木)
7 月	すいか割り行事	25(木)、26 (金)、27 (土)
	ずんだプリン調理レク	17(水)
8 月	かき氷行事	20(火)、21 (水)、22 (木)
	スムージー調理レク	12(月)
9 月	長寿を祝う会行事	19(木)、20(金)、21(土)
10 月	木曽路ランチとイオンタウンふじみ日帰り行事 ハロウィンかぼちゃモンブラン調理レク	10/9 (水)、17 (木)、18 (金) 23(水)、25(金)、29 (火) 11/2(土)、5 (火)、7 (木)
11 月	鍋行事 (すいとん鍋 ・キムチ鍋・石狩鍋)	25(月)、26(火)、27(水)
12 月	クリスマス行事	24(火)、25(水)、26(木)
1 月	むさしの神社行事 (輪投げ・おみくじ・絵馬)	28(火)、29(水)、30(木)
2 月	映画行事 (ポップコーン・泣いた赤鬼・落語ザムービー)	19(水)、20(木)、21(金)
3 月	バーベキュー行事 (ニジマス・フランクフルト・シシャモ)	26(水)、27 (木)、28 (金)

居宅介護支援事業



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 人材育成	① 対人援助者として必要な知識の取得や会議での積極的な発言を目標に取り組みました。 ② 「ケアマネジャーの為の成年後見入門」「高齢者虐待防止の実践と解説セミナー」「在宅看取りとその後～医療・介護と葬儀社の連携～」等の研修に参加し、スキルアップを目指しました。
(2) 介護報酬改定	① 制度改正を受け、必要な業務や加算の変更等を確認し、業務内容を見直しました。 ② 毎月1回の会議で情報の共有や困難ケースについて検討しました。
(3) プラン作成率維持・向上に向けた取組み	① 年間のケアプラン作成率は（要介護と要支援の平均）は85.3%となり、目標を達成することが出来ませんでした。新規38名を受け入れ、年間の要介護請求合計は1188件となり、前年より158件減少となりました。

地域包括支援センター



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 総合的な相談支援	<p>① 令和6年度、相談実人数 832 人（内電話 450 人、訪問 279 人など）</p> <p>② 積極的に地域に出向き、訪問相談やチラシ配布による活動周知を行った。介護保険サービスのみならず、健康増進センターはつらつ教室（フレイル介護予防）、ふじみ在宅福祉サービスセンター（生活支援）、ふれあいサロン（居場所）など、地域にある社会資源を有効活用しました。</p>
(2) 権利擁護、虐待の早期発見・防止	<p>① 市役所やケアマネジャー、事業所との情報共有や初動を迅速に行い、必要時はコアメンバー会議を通して支援方針を統一しました。</p> <p>② 日常生活自立支援事業（あんしんサポートねっと）や成年後見センターふじみ、身元保証会社を活用し、必要時は司法書士・行政書士・社会福祉士事務所と協働し直接的な支援を行いました。</p>
(3) ケアマネジャーへの支援	<p>① 介護予防支援マネジメントを委託しているケアマネジャーには、新規や更新時にケアプランの確認と指導をしました。（年末委託数 77 件）</p> <p>② ケアマネジャー支援としての個別相談（サービス利用、認知症、家族介護、権利擁護、苦情処理など。延べ人数 110 人）</p>
(4) 介護予防ケアマネジメント	<p>① 実態把握（年間 162 件）や予防プラン（包括プラン）（年度末 77 件）を通して課題把握と具体的な介護予防マネジメントに取り組みました。</p> <p>② 介護者教室開催（2 回）</p>
(5) 医療・介護連携	<p>① 医療機関や介護事業所との連携強化に努めました。</p> <p>＜開催・参加＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護連携会議（5 月・9 月・1 月） ・医療と介護の連携の会多職種研修（2 市 1 町）（1 回） ・入退院支援ルール会議（2 回 入退院連携シートの周知・活用） ・医療と介護交流会（10 月・みずほ台病院） ・地域密着型運営推進会議 （デイサービスセンター南畑（4 月・10 月）・デイサービス凜（5 月・10 月） ・高齢者見守りネットワーク（通年） ・出前講座開催「高齢者の口腔ケアについて」（3 月）
(6) その他	<p>① 地域ケア会議（8 回）</p> <p>＜開催・参加＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別会議（要介護 1・2 のプラン 3 回、管理栄養士・歯科衛生士招集） ・介護予防支援ケア会議（包括プラン 2 回） ・圏域会議（地域事例 3 回）

	<p>(1) 7/25 「地域で考える高齢者の防犯対策について」(羽沢2丁目町会)</p> <p>(2) 12/23 「地域で考える高齢者の防犯対策について」(渡戸東町会)</p> <p>(3) 3/5 「認知症になっても、地域で自分らしく暮らしていくために」(渡戸3丁目町会) ～認知症の方を支えていくための支援について考える～</p> <p>② 認知症地域支援推進</p> <p>高齢者福祉課、認知症地域支援推進員、認知症サポーター、医師などとの連携・協働 ＜開催・参加＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座(3回)・認知症サポーターフォローアップ講座(2回) ・チームオレンジ座談会(6月・7月) ・チームオレンジキックオフミーティング(1月) ・埼玉県キャラバンメイト養成研修(5月) ・認知症初期集中支援チーム員研修(8月) ・認知症ケア相談室(随時) ・オレンジカフェ「南畑いこいば」(6回)・オレンジカフェ「渡戸3」(6回) ・5圏域合同オレンジカフェ(9月) ・認知症地域支援推進員会議(毎月) <p>③ 生活支援体制整備事業 重層的支援体制整備事業</p> <p>地域や高齢者福祉課、生活支援コーディネーターなどとの連携・協働 ＜参加＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/30からウェルシア薬局、移動販売「うえたん号」始動 ・第2層南畑地域会議(10月) ・第1層生活支援体制整備事業会議(10月) ・第1層おとなりフェス(3月) <p>④ 家族介護者(ケアラー)支援</p> <p>健康増進センター、生活サポートセンター、子ども未来応援センターなどとの連携・協働</p> <p>⑤ 感染防止対策 非常災害対策</p> <p>国や県、市、法人などの方針に従い、滞りなく事業を実施することができました。 また、災害や感染症に備え対策を検討しBCPを策定しました。 ＜開催・参加＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽沢1丁目町会地域防災訓練(12月)・南畑第5町会地域防災訓練(2月) ・東入間医師会 施設クラスター対応研修(9月) ・むさしの倶楽部にて出前講座開催「埼玉県の河川防災について」(2月) <p>⑥ 地域行事への参加・協力等</p> <p>＜参加＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡戸東町会敬老会出前講座(9月)・南畑環境美化活動(12月) ・南畑ふるさとまつり出前相談会(3月)
--	---

【むさしの倶楽部出前講座】口腔ケア



【オレンジカフェ】渡戸 3



【移動販売うえたん号】

むさしのテラスにて



配食サービス

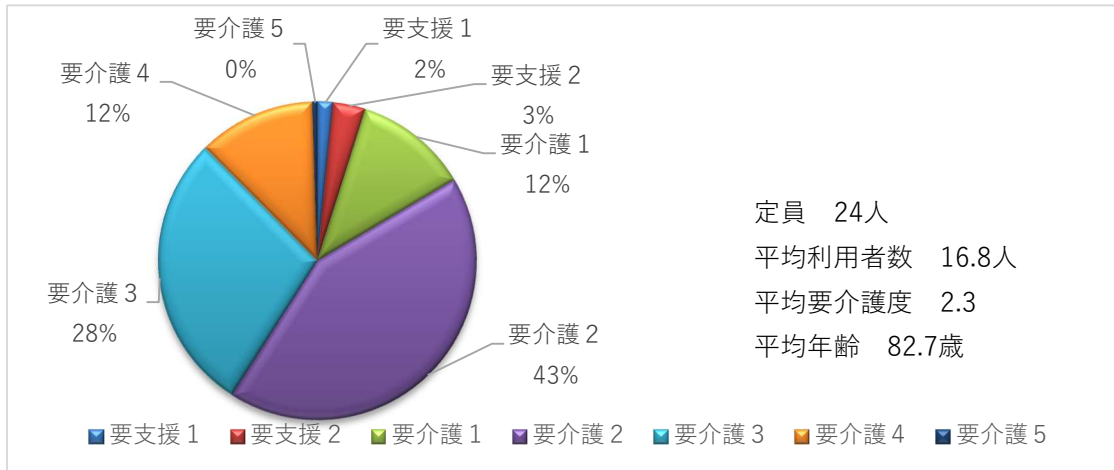
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 身体状態に合わせた食事の提供	① 年間の実績はありませでした。新型コロナウイルスの影響により、宅配弁当の需要が増加したことで様々なニーズに対応できる事業所が増えたことが理由として考えられます。事業のあり方について課題が残りました。

5 地域支援課

総合目標及び課題

- ・人材の育成及び定着
- ・虐待防止体制の構築
- ・BCP（業務継続計画）に沿った研修・訓練の実施

小規模多機能型居宅介護



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) サービス	① 通い：季節感を取り入れた行事（ひな祭り・節分・クリスマス等）の開催や、食事・おやつをご利用者と一緒に手作りする機会（スイートポテト作りや外食・出前）を設け、楽しく・明るい環境作りに力を入れました。 ② 訪問：訪問サービス手順書を作成することが出来ました。 ③ 泊り：週1回の対応を始めることが出来ました。
(2) ケアプラン	① 一人ひとりのニーズに沿ったケアプランを作成し、職員間でケアプランの内容を共有し適切なサービスを提供しました。また、会議等で対応について話し合いを行いより良いケアに繋げることが出来ました。 ② 各利用者に担当職員を配置することで担当利用者の支援内容等の確認をするようになり、会議等で各職員より支援内容の周知を行いケアの統一を図るようになりました。
(3) 人材育成・定着	① 常勤及び非常勤職員の職員配置を行えました。 ② 新たな職員へOJTを行い育成に力を入れました。また個々に面接を行うことで、日々の業務について確認することが出来ました。
(4) 稼働率	① 法人内包括との連携や市内の包括・居宅に営業を行いました。 登録者 16.3 名・稼働率 61.7%の稼働となりました。 目標稼働率を下回っているが、年度の後半より人員配置も整い利用者の受け入れ

	<p>を行いました。</p>
<p>(5) BCP（業務継続計画）の実施</p>	<p>① 感染症・災害時に係る業務継続計画の作成は行えたが研修及び訓練を実施することはできません</p>
<p>(6) 虐待・ハラスメント防止</p>	<p>① おおむね2ヶ月に1回、委員会を開催致しました。 研修として職員アンケートを取ることで、普段何気なく行っていることが虐待に繋がらないか職員間で話し合いを行いました。</p> <div data-bbox="485 598 863 987" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="890 584 1362 987" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="485 1021 1394 1509" data-label="Image"> </div>

地域密着型特別養護老人ホーム

介護

要介護 5
15%

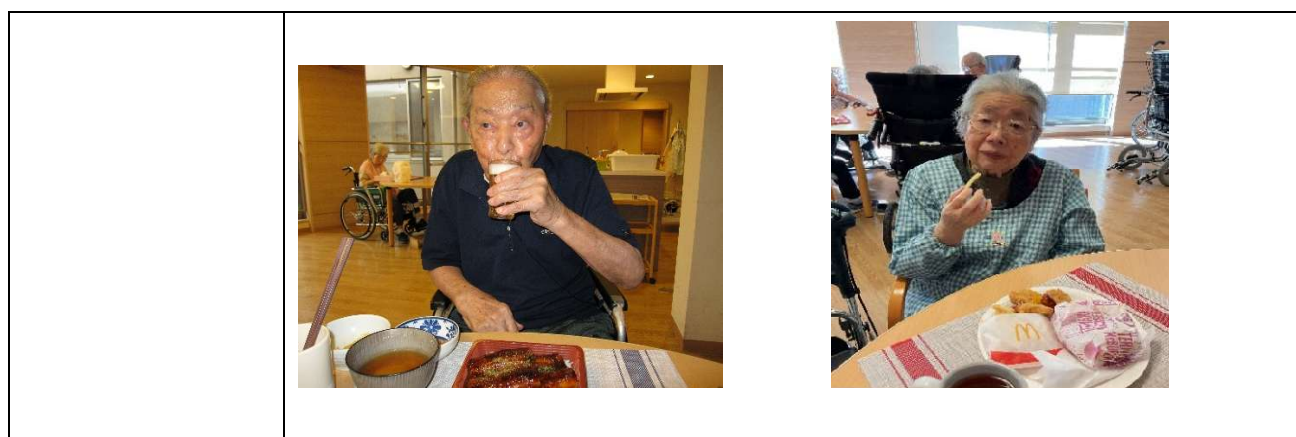
要介護 3
35%

要介護 4
50%

定員 29人
平均利用者数 27.5人
平均要介護度 3.8
平均年齢 87.7歳

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ユニットケア	<p>① 毎月リーダー会議内の時間を有効活用して、検討・話し合いをすることができました。</p> <p>② 看取り指針を確認することができました。 ひだまりの庭に準ずる「看取りケア」マニュアル作成はできませんでした。</p>
(2) 看取りケア	<p>① 入居者に応じた個別の看取りケアを実施することができました。 また、看取り対応終了後には良かった点・改善点など話し合うことで次回に活かすための取り組みができました。</p>
(3) ICT 及び IOT 化の推進	<p>① みまもりセンサーを活用することで転倒・転落を未然に防止することができました。また、モニター上の波形を確認することで眠りの深さなど入眠状況を調べることができました。</p> <p>② タブレット使用しての記録入力については周知をしている段階です。 タブレットの操作方法・入力手順など、把握することができれば実際に活用することが可能となります。</p>
(4) BCP（業務継続計画）	<p>① 年 2 回 PPE 研修を実施することができました。 ノロウイルスなどの吐物処理についての実技研修を実施しました。 実際にコロナウイルス感染症の陽性者対応をすることで改善点などマニュアルの更新をすることができました。</p> <p>② 災害に係る業務継続計画の作成したが、研修まで実施することが出来ませんで</p>

			10/31 すいせん 百歳を迎えた入居者 お祝いの式典開催
	1 1 月	地域防災訓練 水谷文化祭	11/9 水谷文化祭 もつ煮・お菓子詰め合わせ販売 11/7 すいせん お好み焼き作り
	1 2 月	冬至（ゆず湯） 餅つき（家族参加） →状況により入居者のみ クリスマス会	12 月第 4 週 実施 12/19 餅つき お餅 4 種・豚汁 甘酒を提供 クリスマス会：開催なし
	1 月	新年会（家族参加） →状況により入居者のみ	新年会：開催なし
	2 月	節分	節分：開催なし
	3 月	ひなまつり	3/3 ひな壇飾りの鑑賞 3/13 こすもす いちご狩り
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>		



看護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入居者の体調管理	<p>① 毎朝の健康チェックと介護職からの情報交換、可能な限りユニットに行くことで以上の早期発見と対応が出来ました。</p> <p>② 介護職、管理栄養士とも常に連携が取れ、お互いに相談しやすい環境もあり健康の維持と異常の早期発見につなげる事が出来ました。</p> <p>また、介護職と栄養課の努力により、食事摂取を積極的に進めることで、基礎体力の維持と疾病の予防に繋がり、受診と入院を極端に減らせていることが出来ました。</p>
(2) 感染対策	<p>① 感染症委員会を通して感染対策の実施、医務室ドアに感染に対する注意喚起を実施しました。</p> <p>② 年2回のPPE実技研修をはじめ、吐物処理の実技を行いました。</p> <p>他に、看護の指示を待つことなく感染対策が誰でも即時に実行に移せるようにと各ユニットにひだまり独自のマニュアルを作成したことで感染拡大させないようにしました。</p>
(3) 嘱託医と薬剤師との連携強化と継続	<p>① 細かな事、受診を要しない症状の報告など、小まめに嘱託医と連絡、相談が出来ました。</p> <p>② 発症時の症状に対し、予測を兼ねた症状対策がとれ、未然に防ぐことが出来ました。</p>

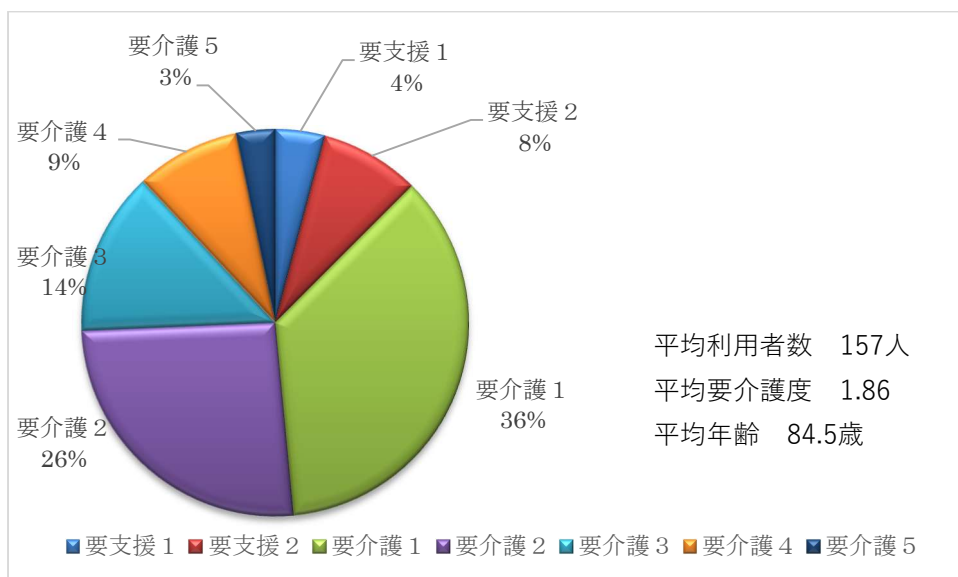
リハビリ

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 個別リハビリの実施	① 週2回の個別リハビリを実施しました。 ② 介護職員より入居者の歩行状態や座位姿勢、介助方法等について相談があった際に連携図り相談・助言を行いました。

相談

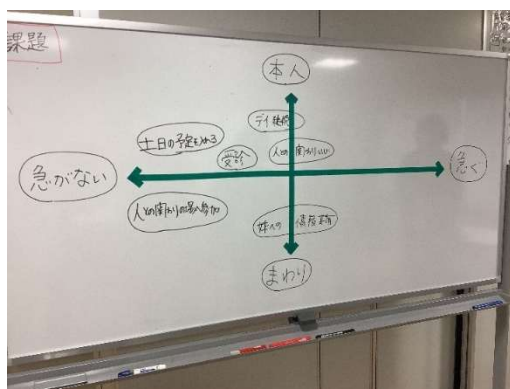
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入院者の病状確認	① 退院支援が速やかにできるよう、病院の看護師や相談員またご家族に対し病状確認を行いました。
(2) 稼働率維持・向上に向けた取組み	① 各セクションでの取組みを実施し本年度稼働率 95.4%となりました。 ② 入院者等で空きベッドが出た際は、年間延べ日数 54 日の空床ショートステイの受け入れを実施致しました。
(3) 入所申込者の整理	① 入所申込み期間が長期になっている方に対し、状況確認の案内を送付することで、現在の状況について確認を行い、申し込み者の整理を行いました。

居宅介護支援事業

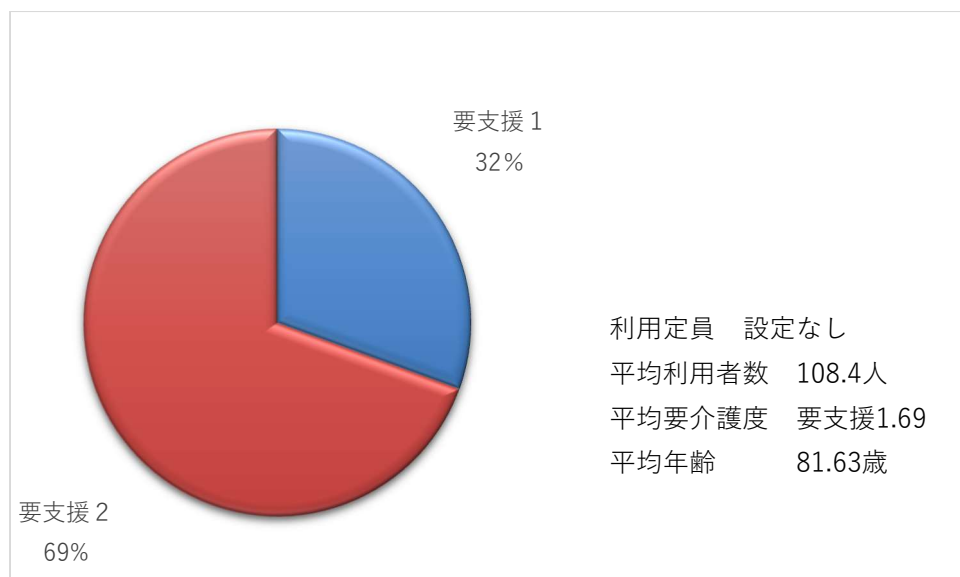


重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ケアマネジメントの充実	① ご利用者の尊厳ある生活が維持できるようにご本人、ご家族の意向に沿ってケアプランを作成しました。 ② 心身の状況に応じて適切なサービスを利用できるよう地域包括支援センターやサービス事業所など多職種連携に努め積極的に受け入れを行いました。 ③ 入退院時など体調面に不安な時でも安心して過ごせるよう地域病院と医療連携を

	速やかに行いました。
(2) 介護支援専門員の 資質向上	① 担当者不在時でも迅速・丁寧に対応できるよう定期的に会議を行い、事業所間の情報共有を行いました。 ② ケアマネジャーごとに目標を立て研修へ参加しました。個々の知識、専門性を高めるよう努めました。 ③ 他法人の居宅介護支援事業所と事例検討会を行いました。知識の共有、事業所全体のレベルアップを目指しました。
(3) BCP（業務継続計画）	① 感染症・災害時に係る業務継続計画に沿った研修及び訓練を実施しました。
(4) 虐待・ハラスメント防止	① 研修・委員会を開催し虐待・ハラスメントを防止の勉強をしました。
(5) 作成率維持・向上 に向けた取組み	① 上記取組みを実施し目標稼働率 88%を掲げ、平均 88.5%で稼働しました。



地域包括支援センター



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 総合的な相談支援	① 高齢者の方々が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、市役所に代わる地域の身近な相談窓口として機能できるように努めました。 ② 相談窓口対応の間口拡大のため土曜日も開所しました。
(2) 権利擁護、虐待の早期発見の・防止	① 高齢者の権利擁護について速やかに対応しました。また権利の侵害について地域への情報提供を行いました。 ② 実態把握により問題の早期発見に努め、権利の侵害を未然に防ぐ対応を心掛けました。
(3) ケアマネジャーへの支援	① 市内の地域包括支援センターと協力し、ケアマネサロン「クラージュ」を開催しました。 ② ケアマネジャー向けの研修会を実施しました。 ③ ケアマネジャーからの相談に対し、協力体制を築きました。
(4) 介護予防ケアマネジメント	① 自立支援を目指し介護予防ケアマネジメントにより、介護度の重度化を防ぎました。 ② 上記取り組みを実施し、予防プラン(自プラン)月平均 34 件でした。
(5) 医療・介護連携	① 二市一町のネットワーク研修への積極的に参加・協力しました。 ② 介護申請、入退院支援、ケアマネジャーの紹介など医療と介護の連携が取れるように協力関係を築きました。

(6) BCP（業務継続計画）	① 感染症・災害時に係る業務継続計画に沿った研修及び訓練を実施しました。
(7) その他	<p>① 地域ケア会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の自立支援に資するケアマネジメントが適切に実施できるよう、介護予防支援地域ケア会議、地域ケア個別会議を行いました。 ・地域での課題把握やネットワーク作りのために地域ケア圏域会議に取り組みました。 <p>② 認知症地域支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症地域支援推進員としての活動を通じ、認知症を患っても安心して生活できる地域作りに取り組みました。 ・地域に開かれた、認知症カフェを継続して開催しました。 <p>③ 生活支援体制整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市や社会福祉協議会、各地域にある地区社協・町づくり協議会と連携しました。 <p>④ 家族介護者支援（ケアラー支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護者教室を開催し、介護者や介護に関心のある地域の方が、介護への理解を深め、また介護負担の軽減につながるよう支援しました。 ・様々な立場の家族介護者が社会的孤立しないよう相談・支援を行いました。 <p>⑤ 地域行事への参加・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中での周知を高め、関係を深めます。また、法人職員として地域に根差した施設であるための活動に協力しました。



6 栄養課

総合目標及び課題

- ・ 安心安全、おいしい食事を提供し、利用者の食生活を支えます。
- ・ 食を通じて利用者の笑顔を実現します。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 食事の質向上に係る取組み	① 日々の業務で3つの計測（量、時間、温度）をしっかりと行いました。 ② 個人の嗜好に配慮した食事提供に努めました。 ③ 行事食を充実し、利用者の食生活が豊かであるように努めました。
(2) 継続性のある食事提供に係る取組み	① 災害発生時に継続して食事を提供できる体制作りに努めました。 ② 施設内において感染症が流行した場合でも、継続して食事を提供できる体制作りに努めました。
(3) 食べる喜びに係る取組み	① 栄養バランス、嗜好性、食べ易さに配慮した食事を提供し、利用者の栄養状態が良好に保たれるように努めました。 ② 多職種間で連携を取り、利用者が安心して人生の最期まで口から食べられるように努めました。

4/4 (木)	春のお弁当
4/16 (火)	まぐろのむぎとろ丼
5/3 (金)	端午の節句行事食 (ちらし寿司と刺身の盛合わせ)
5/16 (火)	5月のお弁当(3色そばろごはん、 アジ南蛮漬、つくね、煮しめ、他)
6/11 (月)	初夏の御膳(枝豆ご飯、鶏肉・長芋・ 焼き茄子の梅餡、ほか)
7/5 (金)	鰻丼(マコニサダ、スイカ、汁物)
7/23 (火)	鉄火丼(かき玉汁、メスの梅和え)
8/6 (火)	ビーフシチューオムライス
8/20 (火)	アサギ・サモン・帆立のちらし寿司
9/5 (木)	二色丼と鮭の西京焼き弁当
9/17 (火)	長寿の祝い膳 赤飯、刺身、天ぷら、炊合せ、ほか
10/8 (火)	秋のお弁当
11/5 (火)	おとなランチ
11/20 (水)	鉄火サーモン丼
12/19~21	餅つき会 19日(ひだまり) 20日(特養)※中止 21日(デイサービス)
12/24 (火)	クリスマス行事食・おやつケーキ
1/1 (水)	元旦(赤飯、おせち詰め合わせ)
1/2 (木)	ねぎとろ丼
1/3 (金)	牛肉の柳川風
1/21 (火)	ポキ丼(ハワイ風ちらし寿司) (鮭とアボカドにんにく醤油味)
2/6 (木)	いなりちらし寿司、カニ風味餡茶 碗蒸し、ほか
2/14 (金)	バレンタインおやつ行事
3/4 (火)	ひな祭り(鮭ちらし寿司、里芋柚子 餡、菜の花和え物)
3/20 (木)	早春のお弁当(筍ご飯、天ぷら、 鰯西京焼、そらまめ白あえ、ほか)



2024/07/05 鰻丼



2024/7/23 鉄火丼



2024/08/20 ちらし寿司